

講座の目的：e-Stat※1、統計GIS※2、API機能※3を使い、
統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：令和3年1月12日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

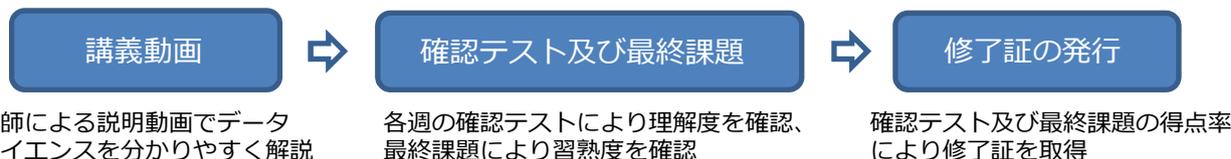
講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一朗氏（「GEEQ※4」開発者）、
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Statの機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GISの活用	統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

- ※1 政府統計の総合窓口
- ※2 地図で見る統計（jSTAT MAP）
- ※3 データを自動で取得できる機能
- ※4 「GEEQ（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト

▶ 講座の流れ



▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p>「社会人のためのデータサイエンス入門」</p> <p>(講座の特徴) データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開 講 時 期) 平成27年3月、11月 平成28年3月※、12月 平成29年5月※ 平成30年5月、11月※ 平成31年4月※ 令和元年10月、12月※ 令和2年5月、9月※</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約112,000人が受講</p>	<p>「社会人のためのデータサイエンス演習」</p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成28年4月、11月※ 平成29年11月 平成30年6月※ 令和元年5月、10月※ 令和2年9月</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～6回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約39,000人が受講</p>	<p>「誰でも使える統計オープンデータ」</p> <p>(講座の特徴) 公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成29年6月、10月※ 平成30年12月 令和2年1月</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約20,000人が受講</p>
--	---	--

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座